

令和 7 年度

新潟支社管内基本単価調査

特記仕様書

令和 7 年 1 月

東日本高速道路株式会社 新潟支社

～ 目 次 ～

第1章 総則

1－1	調査等概要	1
1－2	適用する共通仕様書	1
1－3	テクリスへの登録	1
1－4	履行期間	1
1－5	部分使用	2
1－6	打合せ簿の作成及び提出について	2

第2章 業務細部に関する事項

2－1	定期価格調査	3
2－2	臨時価格調査	7
2－3	公共事業労務費調査	8
2－4	調査打合せ	9
2－5	報告書作成	10
2－6	交通費・日当・宿泊費	10

第3章 その他に関する事項

3－1	価格変動状況の報告	10
3－2	設計図書の変更及び追加が予想される内容	10
3－3	その他	11

別添

様式－1 履行期間通知書

総括表（定期価格調査、臨時価格調査、公共事業労務費調査）

調査項目一覧表（定期価格調査）

第1章 総則

1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 令和7年度 新潟支社管内基本単価調査

1-1-2 履行箇所 東日本高速道路株式会社 新潟支社管内

1-1-3 主な履行内容

定期価格調査	538 品目
臨時価格調査	106 品目
公共事業労務費調査	20 件
調査打合せ	1 式
交通費・日当・宿泊費	1 式
報告書作成	1 式

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和6年7月版とする。

1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-12-4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム（以下「テクリス」という。）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日（以下「休日等」という。）及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

（1）受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内

（2）登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内

（3）完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

1-4 履行期間

本業務は、共通仕様書1-13「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を

図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から 10 日以内に、履行期間通知書（様式－1）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から 860 日間（まで）

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から 60 日間（まで）

1－5 部分使用

共通仕様書 1－36 の規定に基づき部分使用する部分及びその使用開始予定時期は下表のとおりとする。また、共通仕様書 1－36－2、1－36－3によらず、部分使用の開始の際には、対面、電子メールまたは電話での確認を行うものとする。

部 分	使用開始予定時期	使用理由
定期価格調査 ・2025 年度下半期調査 ・2026 年度上半期調査 ・2026 年度下半期調査 ・2027 年度上半期調査	2025 年 9 月中旬 2026 年 3 月中旬 2026 年 9 月中旬 2027 年 3 月中旬	工事価格の算出に使用するため
臨時価格調査	報告の都度	
公共事業労務費調査 (2025 年度)	2026 年 1 月下旬	公共事業労務費調査連絡協議会に提出するため
公共事業労務費調査 (2026 年度)	2027 年 1 月下旬	

※上表に示す部分使用に係る使用開始時期に変更が生じた場合は、別途監督員と受注者との協議し定めるものとする。

1－6 打合せ簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1－22「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等除く）に受注者へ返送するものとする。

第2章 業務細部に関する事項

2-1 定期価格調査

2-1-1 定義

定期価格調査とは、設計図書及び監督員の指示に従って別添「調査項目一覧表」に示す項目の材料価格等を調査して報告することをいう。

2-1-2 区分と内容

定期価格調査の内訳書の区分と調査内容は、次のとおりとする。

区分	調 査 内 容	該当品目（例）
B-①	材料価格調査の実施に際して図面が不要な材料で、調査対象地区への実地調査を伴うなど、簡単な聞き取り調査だけでは速やかに調査結果が得られない「積算資料」「建設物価」掲載品目に準じる標準品（市中流通品）の材料価格を調査して報告するもの 上記材料で、同一品目 1 規格以上 10 規格以下の調査を行うもの	骨材 生コンクリート セメント アスファルト混合物 再生資材 建設副産物処理費
B-②	上記材料で、同一品目 11 規格以上 20 規格以下の調査を行うもの	
B-④	上記材料で、同一品目 31 規格以上 40 規格以下の調査を行うもの	
D-①	工事費調査の実施に際して図面が必要で、工法や使用機械等が決まっていて、単位当たりの工事費を求める土木工事積算基準に準ずる標準的な工事費調査又は他機関（土木工事積算基準以外）の積算基準書に準ずる標準的な工事費調査 上記材料で、同一品目 1 規格以上 10 規格以下の調査を行うもの	床版防水工 等

2-1-3 適用期間

定期価格調査で実施する調査単価の適用期間は、次のとおりとする。

区 分	内 容
2025 年度下半期調査	2025 年 10 月 1 日～2026 年 3 月 31 日まで適用できる単価等の調査
2026 年度上半期調査	2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日まで適用できる単価等の調査
2026 年度下半期調査	2026 年 10 月 1 日～2027 年 3 月 31 日まで適用できる単価等の調査
2027 年度上半期調査	2027 年 4 月 1 日～2027 年 9 月 30 日まで適用できる単価等の調査

調査単価の適用期間について調査項目毎に規定がある場合は、各項目の規定によるものとする。

2-1-4 調査方法

- 1) 各材料価格の取引数量は、別に定めるものを除き、生産者、販売業者及び工場等と建設業者（以下、「調査対象業者」という。）との取引における大口需要者価格（「建設物価」（（一財）建設物価調査会発行）及び「積算資料」（（一財）経済調査会発行）（以下「物価資料等」という。）を参考とする。）を標準とする。
- 2) 受注者は、設計図書及び監督員の指示に従って、品目毎に所定の仕様を満足する材料を自ら選定したうえ、さらにその材料を当社に供給可能な調査対象業者を選定して価格等を調査しなければならない。
- 3) 受注者は、上記で選定した調査対象業者に対して訪問による「面接調査」、郵送等による「通信調査」及び電話等による「聞取調査」等（以下、「調査」という。）を行い、本業務に必要な材料等のヒアリング結果を整理・集計し、地域間格差、品目規格間格差、需給動向との関連、社会経済動

向との関連、類似製品・原材料価格との関連について比較検討のうえ、各材料価格を決定するものとする。

4) 受注者は、決定価格と仕様書の整合性や分析の妥当性及び報告書の記載誤記入等がないか照査しなければならない。

5) 受注者は、材料費の報告に際しては当該項目の公表の可否について記入し報告するものとする。

2-1-5 建設関連（土木）工事における定期価格調査

1) 骨材

別添「調査項目一覧表」に示す各地区別に搬入可能範囲内の調査対象業者から土場渡し及び現場持ち込み価格の見積りを徴収するとともに、各骨材の需要者であるレディミクストコンクリート工場、アスファルトコンクリート工場及び建設業者等からも調査するものとする。

調査に際しては、特に材料の品質、規格、使用量に注意しなければならない。

材料価格の算出にあたっては、組合及び生産者等の採取場渡し又は生産工場渡しの価格に運搬コストを加算したものを考慮し、受注者独自の分析により各現場持ち込みの実勢価格と比較検討のうえ算出するものとする。

材料価格は、地区毎に算出するものとするが、調査範囲内で一律に価格が決められない場合は、監督員と協議し調査範囲を更に細分化し算出するものとする。

2) 生コンクリート

別添「調査項目一覧表」に示す各地区別に搬入可能範囲内の生コンクリート工場及び生コンクリート協同組合等から見積りを徴収するとともに、需要者である建設業者等からも調査するものとする。

また、調査に際しては、特に材料の品質、規格、使用量、運搬距離に注意しなければならない。

調査を実施し、受注者独自の分析により当社の指定するコンクリート配合に該当する実勢価格と比較検討のうえ算出するものとする。

材料価格は、地区毎に算出するものとするが、各生コンクリート協同組合の販売エリア等により、調査範囲内で一律に価格が決められない場合は、監督員と協議し調査範囲を更に細分化し算出するものとする。

なお、発注者の指定するコンクリート配合のうち J I S 規格以外の配合については、生コンクリート工場及び生コンクリート協同組合から発注者の指定する配合を満足する配合表を徴収し、監督員と協議するものとする。

また、生コンクリートの現場着価格には、当社のコンクリート施工管理要領に規定する品質基準を満足するものとし、コンクリート施工管理要領 3-6 及び 3-7 に示す試験費及び書類整備費（生コンクリート製造設備において実施するもの）等を含むものとする。

3) セメント

別添「調査項目一覧表」に示す各地区別に搬入可能範囲内のセメントメーカー等から見積りを徴収し、次に示す使用数量範囲毎の実勢価格を算出するものとする。

使用数量は 300 t 未満の中口価格、300 t ～1,000 t 未満の大口価格、1,000 t ～3,000 t の超大口価格 2 種及び 3,000 t 以上の超大口価格 1 種とする。

4) アスファルト混合物

別添「調査項目一覧表」に示す各地区別に搬入可能範囲内のアスファルトコンクリート工場及び販売業者等から見積りを徴収するとともに、アスファルト混合物の需要者である舗装業者及び建設業者等を対象として調査を実施し、受注者独自の分析により実勢価格を比較検討のうえ算出し報告するものとする。なお、アスファルト混合物を製造、運搬し販売するのに要する材料、労務その他全ての経費を含むものとする。また、アスファルト混合物は、当社の舗装施工管理要領に規定する品質基準を満足するものとする。

価格は、地区毎に算出するものとするが、調査範囲内で一律に価格が決められない場合は、監督員と協議し調査範囲を更に細分化し算出するものとする。

5) 建設副産物処理関係

建設副産物処理の価格調査は、別添「調査項目一覧表」に示す地区毎に、搬出可能な範囲（概ね50km 以内）の廃材処理業者について、取扱品目及び処理費用等の調査を実施するとともに、見積りを徴収し、受注者独自の分析により実勢価格を算出し報告するものとする。

調査品目等は、別添「調査項目一覧表」によるものとする。

また、受入可能数量、受入条件、建設廃材処理区分等を調査し、次の項目を記載した報告書を作成するものとする。

- ・処理業者名簿（業者名、住所、連絡先、処理免許の種別、運搬距離、取扱品目、受け入れ条件等を記載）
- ・処理施設位置図（処理場の位置、最寄 I C からの距離を記載）

2-1-6 管理関連（土木）工事における定期価格調査

アスファルト混合物の価格調査は、別添「調査項目一覧表」に示すインターチェンジ間の持ち込み価格を調査するものとする。

また、アスファルトプラント設備調査として自動計量記録装置設置の有無、又は設置予定の有無及び設置しているプラントについてはその装置の形式を調査するものとする。

建設副産物処理の価格調査は、別添「調査項目一覧表」に示す管理事務所別の処理価格を調査するものとする。また、産業廃棄物処理許可の有無及び許可内容について調査するものとする。

床版防水の価格調査は、別途監督員が指示する対象橋梁において、別添「調査項目一覧表」に示す床版防水の種別について、工事費（材料、労務を含む）を調査するものとする。

生コンクリートの価格調査は、別添「調査項目一覧表」に示すインターチェンジ区間の持ち込み価格を調査するものとする。

1) アスファルト混合物関係

調査価格は、別途監督員が指示する「アスファルト混合物の暫定配合」に基づく、別添「調査項目一覧表」に示す各インターチェンジ間の中間地点の持ち込み価格とし、搬入可能範囲内のアスファルトコンクリート工場及び販売業者等から見積りを徴収するとともに、アスファルト混合物の需要者である舗装業者及び建設業者等を対象として調査を実施し、受注者独自の分析により実勢価格を比較検討のうえ算出し報告するものとする。なお、アスファルト混合物を製造、運搬し販売するのに要する材料、労務その他全ての経費を含むものとする。

ただし、高速道路への持ち込みに必要な高速道路料金、消費税及び地方消費税相当額は含まないものとする。また、アスファルト混合物は、当社の舗装施工管理要領に規定する品質を満足するものとする。

価格は、各インターチェンジ間毎に算出するものとするが、調査範囲内で一律に価格が決められない場合は、監督員と協議し、調査範囲を更に細分化するものとする。

2) 建設副産物処理関係

建設副産物処理の価格調査は、別添「調査項目一覧表」に示す各管理事務所別に、搬出可能な範囲(概ね 50km 以内)の廃材処理業者について、取扱品目及び処理費用等の調査を実施するとともに、見積りを徴収し、受注者独自の分析により実勢価格を算出し報告するものとする。

調査品目等は、別添「調査項目一覧表」によるものとする。

また、受入可能数量、受入条件、建設廃材処理区分等を調査し、次の項目を記載した報告書を作成するものとする。

- ・処理業者名簿(業者名、住所、連絡先、処理免許の種別、運搬距離、取扱品目、受け入れ条件等を記載)
- ・処理施設位置図(処理場の位置、最寄 I C からの距離を記載)

3) 床版防水関係

調査価格は、別途監督員が指示する対象橋梁において、別添「調査項目一覧表」に示す床版防水の種別について、床版防水製造工場及び販売業者等から工事費の見積りを徴収するとともに、床版防水の需要者である舗装業者からも調査を実施し、受注者独自の分析により実勢価格を比較検討のうえ算出するものとする。

4) 生コンクリート関係

別添「調査項目一覧表」に示す各インターチェンジ間の中間地点に搬入可能範囲内の生コンクリート工場及び生コンクリート協同組合等から見積りを徴収するとともに、需要者である建設会社等からも調査するものとする。

また、調査に際しては、特に材料の品質、規格、使用量、運搬距離に注意しなければならない。調査を実施し、受注者独自の分析により当社の指定するコンクリート配合に該当する実勢価格を比較検討のうえ算出し報告するものとする。

材料価格は、各インターチェンジ間毎に算出するものとするが、各生コンクリート協同組合の販売エリア等により、調査範囲内で一律に価格が決められない場合は、監督員と協議し調査範囲を更に細分化し算出するものとする。

なお、発注者の指定するコンクリート配合のうち J I S 規格以外の配合については、生コンクリート工場及び生コンクリート協同組合から発注者の指定する配合を満足する配合表を徴収し、監督員と協議するものとする。

また、生コンクリートの現場着価格には、当社のコンクリート施工管理要領 3-6 及び 3-7 に示す試験費及び書類整備費(生コンクリート製造設備において実施するもの)等を含むものとする。調査品目等は、別添「調査項目一覧表」によるものとする。

2-1-7 調査結果の報告

定期価格調査の調査結果の報告は、本仕様書 2-5 の規定によるものとする。

2-1-8 定期価格調査の数量の検測

定期価格調査の数量の検測は、価格調査を行った数量（品目）とする。

2-1-9 定期価格調査の費用

定期価格調査の費用には、価格決定に必要な調査、分析、照査及び打合せ等を含むものとする。

2-2 臨時価格調査

2-2-1 定義

臨時価格調査とは、別添「調査項目一覧表」に示す資材以外で臨時的に発生する個別の材料価格等を調査して報告することをいう。

2-2-2 区分及び内容

臨時価格調査の内訳書の区分と調査内容は、次のとおりとする。

区分	調 査 内 容	該当品目（例）
A-①	材料価格調査の実施に際して図面が不要な材料で、調査対象地区への実地調査を伴わない、簡易な聞き取り調査で速やかに調査結果が得られる「積算資料」「建設物価」掲載品目に準じる標準品（市中流通品）の材料価格を調査して報告するもの 上記材料で、同一品目 1 規格以上 10 規格以下の調査を行うもの	木材 橋名板 補強土壁工 再生プラスチック階段 排水管 等
A-②	上記材料で、同一品目 11 規格以上 20 規格以下の調査を行うもの	
B-①	材料価格調査の実施に際して図面が不要な材料で、調査対象地区への実地調査を伴うなど、簡易な聞き取り調査だけでは速やかに調査結果が得られない「積算資料」「建設物価」掲載品目に準じる標準品（市中流通品）の材料価格を調査して報告するもの 上記材料で、同一品目 1 規格以上 10 規格以下の調査を行うもの	骨材 生コンクリート アスファルト混合物 セメント 再生資材 建設副産物処理費 廃材処理費 等
C-①	材料価格調査の実施に際して図面が必要な材料で、類似品の市場情報を応用するなど、簡易な聞き取り調査だけでは調査結果が得られない「積算資料」「建設物価」掲載品目に準じる材料の材料価格を調査して報告するもの 上記材料で、同一品目 1 規格以上 10 規格以下の調査を行うもの	排水溝蓋(グレーチング) TN 補助工法材 LED 内照標識 高欄 防護柵
C-②	上記材料で、同一品目 11 規格以上 20 規格以下の調査を行うもの	伸縮装置 落橋防止装置等
D-①	工事費調査の実施に際して図面が必要で、工法や使用機械等が決まっていて、単位当たりの工事費を求める土木工事積算基準に準ずる標準的な工事費調査又は他機関（土木工事積算基準以外）の積算基準書に準ずる標準的な工事費調査	床版防水工(グレート II) コンクリートはつり(WJ) TN 内はく落防止シート等
E-①	工事費調査の実施に際して図面が必要で、工法や使用機械等が決まっていて、土木工事積算基準に準ずる標準的な歩掛調査又は他機関（土木工事積算基準以外）の積算基準書に準ずる標準的な歩掛調査	床版上面補強 ダンプ 泥落し装置 TN 内導水樋撤去等

2-2-3 臨時価格調査に対する依頼手順書の提出

1) 依頼手順書の提出

受注者は、調査等着手前に、臨時価格調査に対する依頼手順書を作成し、監督員に提出しなければならない。

なお、監督員は、提出された依頼手順書を検討の上必要と認めた場合には、受注者に対して修正を求めることができるものとする。

2) 変更依頼手順書

受注者は、臨時価格調査の過程で依頼手順書を変更すべき事象が生じた場合には速やかに監督員に変更依頼手順書を提出しなければならない。

2-2-4 調査方法

臨時価格調査の調査方法は、本仕様書 2-1 と同様とするほか、材料価格の調査に関してはこちらから提示した材料の寸法や品質等の規格を満たす材料の価格を調査するものとする。

2-2-5 調査結果の報告

臨時価格調査の報告については、監督員からの調査指示があつてから概ね 1 ヶ月程度とするが、別途監督員と協議し報告期限を定めるものとする。

2-2-6 臨時価格調査の数量の検測

臨時価格調査の数量の検測は、価格調査を行った数量（品目）とする。

2-2-7 臨時価格調査の費用

臨時価格調査の費用には、価格決定に必要な調査、分析、照査及び打合せ等を含むものとする。

2-3 公共事業労務費調査

2-3-1 目的

本業務は、「公共事業労務費調査の手引き」（公共事業労務費調査連絡協議会）に基づき公共事業労務費調査を実施し、今後の工事の積算に要する設計労務単価決定の基礎資料とするものとする。

2-3-2 情報管理

受注者は、調査票の記載内容が外部に漏洩することが無いよう調査票に記載された情報の管理を徹底しなければならない。

2-3-3 問い合わせ対応

受注者は、調査対象工事の受注者及びその工事の協力会社（以下、「調査対象事業者」という。）からの、調査票記入に関する電話による問合せに対する回答を行うものとする。

2-3-4 聞き取り調査（一次審査）

1) 調査対象事業者向け聞き取り調査の案内

調査対象工事の受注者の現場代理人宛てに、協議会構成機関および事務局が開催する聞き取り調査への出席を依頼するハガキを作成、送付するものとする。

2) 調査票のヒアリング

受注者は、調査対象工事の受注者が聞き取り調査会場に持参・提出する賃金調査票、各種手当内訳票および臨時の給与年計票を就業規則、賃金台帳等の記載内容と一致しているか個々に審査するものとする。

なお、聞き取り調査会場の確保及び会場設営等の有無については、下表のとおりとする。

一次審査会場	審査件数	会場の確保	会場の設営	備考
新潟市秋葉区役所	10 件程度/年度	不要	不要	2025、2026 年度を予定

※一次審査会場、審査会場の確保・設営、審査件数等については、過年度実績による年度毎の予定であるので、別途監督員の指示により変更することがある。また、審査会場の変更により受注者にて会場を確保する場合は別途、監督員と受注者で協議するものとする。

3) 補足調査

受注者は、発注者より指示があった場合、調査票等の記載内容について、電話による調査対象事業者への聞き取り等による補充調査を行うものとする。

2-3-5 書類審査（二次審査）

1) 審査準備

受注者は、北陸地方連絡協議会事務局が書類審査を開催するまでに、全ての調査票に記載された文字情報について、コンピュータによる情報処理に必要なデータエントリー（電子データへ変換）およびベリファイ（検証入力）を実施するものとする。なお、発注者が指示するレイアウトに基づき、集計表を作成するものとする。

2-3-6 成果品

調査報告書として、下記の成果品を納入する。

- | | |
|---------------------------------|-----|
| 1) 公共事業労務費調査対象工事名簿（電子媒体含む） | 1 部 |
| 2) 調査票（有効・無効標本、編別・構成期間別に整理したもの） | 1 部 |
| 3) 調査票データの記録された電子媒体 | 2 部 |

2-3-7 公共事業労務費調査の数量の検測

公共事業労務費調査の数量の検測は、審査を行った工事件数（件） とする。

2-3-8 公共事業労務費調査の費用

公共事業労務費調査の費用には、調査に必要な審査、調査打合せ及び印刷費等を含むものとする。

2-4 調査打合せ

調査打合せとは、本業務の実施開始、定期価格調査、臨時価格調査及び総括の報告書の提出に必要な

な打合せをいい、定期価格調査及び臨時価格調査に必要な打合せは関連する内訳書の項目に含むものとし、別途支払いは行わないものとする。

2-4-1 調査打合せの回数

本業務における調査打合せの回数は、当初打合せ、業務内容確認検査及び完了検査並びに報告書の提出を含め、6回とする。

調査打合せの検測数量は一式とし、履行状況により調査打合せ回数が増減しても調査打合せの費用の変更は行わないものとする。なお、原則として、当初打合せ、業務内容確認検査及び完了検査には、管理技術者は出席するものとする。

2-5 報告書作成

報告書作成とは本業務の定期価格調査及び臨時価格調査結果についてまとめた報告書の作成に要する費用をいう。

提出時期	報告書		備考
	紙	電子データ	
本特記仕様書 1-5 に示す時期	-	1 部	
業務完了時	1 部	1 部	総括報告

2-6 交通費・日当・宿泊費

交通費・日当・宿泊費とは、調査打合せに要する交通費・日当・宿泊費の費用のことをいう。

第3章 その他に関する事項

3-1 価格変動状況の報告

受注者は、本業務の履行期間中、調査対象の資材等について、需給の現状・見通しを監督員に報告しなければならない。

報告の頻度は1ヶ月当たり1回を基本とするが、この期間内においても、急激な価格変動を確認した場合は、随時、報告を行うこととする。なお、この報告に必要な費用は関連項目に含むものとし別途支払いは行わない。

また、急激な価格変動により監督員より追加調査等の指示のあった場合は、必要な体制を確保した上で、それに従わなければならない。追加調査に必要な費用については別途、監督員と受注者で協議するものとする。

3-2 設計図書の変更及び追加が予想される内容

下記に示す事項については、関連する事項の業務内容を変更または追加する場合があるため、受注者は監督員と緊密な連絡をとるとともに、これについて監督員の指示があった場合は速やかにその指示に従うものとする。この場合の費用については、別途監督員と受注者とで協議し定めるものとする。

(1) 公共事業労務費調査において、関係機関との協議によりオンライン調査に変更する場合がある。

3－3 その他

共通仕様書 1－4 4、1－4 5、1－4 6－3、1－4 6－4、1－4 6－5 及び 1－4 9 については、適用しないものとする。

以 上

様式－1

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 新潟支社
支社長 殿

住所
会社名
代表者

履行期間通知書

調査等名

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2－1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2－2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3－1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3－2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3－3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日) (3－2. 受注者が設定した業務の終期)

総括表

【定期価格調査、臨時価格調査、公共事業労務費調査】

総 括 表

項 目	単位	数量																	
						2025下半年期				2026上半期			2026下半年期				2027上半期		
		合計	定期価格 調査	臨時価格 調査	公共事業 労務費調 査	定期価格調査		臨時価格 調査	公共事業 労務費調査	定期価格調査		臨時価格 調査	定期価格調査		臨時価格 調査	公共事業 労務費調査	定期価格調査		臨時価格 調査
						建設関連 (土木)工事	管理関連 (土木)工事			建設関連 (土木)工事	管理関連 (土木)工事		建設関連 (土木)工事	管理関連 (土木)工事			建設関連 (土木)工事	管理関連 (土木)工事	
A－①	品目	36.0		36.0				9.0				9.0			9.0				9.0
A－②	品目	2.0		2.0				1.0						1.0					
B－①	品目	400.0	380.0	20.0		70.0	45.0	5.0		70.0	5.0	5.0	70.0	45.0	5.0		70.0	5.0	5.0
B－②	品目	76.0	76.0			7.0	12.0			7.0	12.0		7.0	12.0			7.0	12.0	
B－④	品目	80.0	80.0			3.0	17.0			3.0	17.0		3.0	17.0			3.0	17.0	
C－①	品目	32.0		32.0				8.0				8.0			8.0				8.0
C－②	品目	4.0		4.0				1.0				1.0			1.0				1.0
D－①	品目	10.0	2.0	8.0			1.0	2.0				2.0		1.0	2.0				2.0
E－①	品目	4.0		4.0				1.0				1.0			1.0				1.0
公共事業労務費調査	件	20.0			20.0				10.0							10.0			
合計		664.0	538.0	106.0	20.0	80.0	75.0	27.0	10.0	80.0	34.0	26.0	80.0	75.0	27.0	10.0	80.0	34.0	26.0

(注1) 上記総括表は、過年度実績に基づき、定期価格調査、臨時価格調査、公共事業労務費調査について計上したものである。
このため、工事実施状況により変更となる場合がある。

(注2) 臨時価格調査は、別途監督員の指示により実施するものとする。

調査項目一覧表

【定期価格調査】

【各年度半期当り】

表1－1 骨材関係(建設)

・対象品目一覧

No.	種 別	品 名	規 格	単位	磐越道 (小松・草水・石間地区)	磐越道 (熊渡・長谷地区)	磐越道 (五十島地区)	磐越道 (五泉PA～新津IC)	磐越道 (新津IC～新潟PA)	磐越道 (阿賀町・東山地区)	磐越道 (西会津町・熊沢・野沢地区)	備 考
1	コンクリート用骨材	砂利	40～5mm	m3								
2	コンクリート用骨材		25～5mm	m3								
3	コンクリート用骨材		15～5mm	m3								
4	コンクリート用骨材	砂	粗目(洗い)	m3								
5	コンクリート用骨材	吹付け用砂(粗目、洗い)	5～0mm	m3								
6	一般道路用骨材	石粉		m3								
7	一般道路用骨材	スクリーニングス		m3								
8	一般道路用骨材	砕砂		m3								
9	一般道路用骨材	細目砂		m3								
10	一般道路用骨材	切込碎石	25～0mm	m3								
11	一般道路用骨材		40～0mm(JISクラッシャーラン)	m3								
12	一般道路用骨材	粒度調整碎石	40～0mm	m3								
13	一般道路用骨材		25～0mm	m3								
14	一般道路用骨材	単粒度碎石	40～30mm(3号)	m3								
15	一般道路用骨材		30～20mm(4号)	m3								
16	一般道路用骨材		20～13mm(5号)	m3								
17	一般道路用骨材		13～5mm(6号)	m3								
18	一般道路用骨材		5～2.5mm(7号)	m3								
19	一般道路用骨材	再生碎石	RC40～0mm	m3								
20	一般道路用骨材	クッション用材	用途:排水管等の基礎砂	m3								
21	一般道路用骨材	盛土用土砂(上部路床)	最大寸法100mm以下、浸水CBR10以上、スレキグ50以下	m3								
22	一般道路用骨材	盛土用土砂(構造物裏込材)	最大寸法150mm以下、浸水CBR10以上	m3								
23	一般道路用骨材	盛土用土砂(構造物裏込材)	最大寸法300mm以下、浸水CBR5以上	m3								
24	一般道路用骨材	盛土用土砂(下部路床)	最大寸法150mm以下、浸水CBR5以上	m3								
25	一般道路用骨材	盛土用土砂(下部路体材)	最大寸法300mm以下	m3								
26	一般道路用骨材	盛土用土砂(上部路体材)	最大寸法300mm以下、浸水CBR2.5以上	m3								
27	一般道路用骨材	栗石	150mm内外	m3								
28	一般道路用骨材		150mm～200mm	m3								

表1-2 生コンクリート(建設)

・対象品目一覧

No.	種 別	品 名	規 格	材令28日 圧縮強度 (N/mm2)	スラブ ※1・2 (cm)	粗骨材 最大寸法 (mm)	空気量 ※1・3 (%)	セメント 種類	最低 セメント量 (kg/m3)	単位	取引数量	磐越道 (小松・早水・石間地 区)	磐越道 (熊渡・長谷地区)	磐越道 (五十島地区)	磐越道 (五泉PA～新津IC)	磐越道 (新津IC～新潟PA)	磐越道 (阿賀町・東山地区)	磐越道 (西会津町・熊沢・野 沢地区)	備 考
1	生コンクリート等	生コンクリート	21-18-25(JIS)	21	18	25(20)	-	普通	-	m3	大口需要 者価格とす る。								
2	生コンクリート等		A1-1	30	8	25(20)	4.5	普通	230	m3									
3	生コンクリート等		A1-3	30	8	25(20)	4.5	普通、高炉B	-	m3									
4	生コンクリート等		A1-4(高性能AE減水剤・膨張材)	30	12	25(20)	4.5	普通、高炉B	270	m3									
5	生コンクリート等		A1-5(高性能AE減水剤・膨張材)	30	15	25(20)	4.5	普通、高炉B	270	m3									
6	生コンクリート等		30-12-25	30	12	25(20)	4.5	普通、高炉B	-	m3									
7	生コンクリート等		A2-1	30	8	40	4.5	普通、高炉B	-	m3									
8	生コンクリート等		B1-1	24	8	25(20)	4.5	普通、高炉B	-	m3									
9	生コンクリート等		B1-2	24	8	25(20)	4.5	早強	-	m3									
10	生コンクリート等		B1-3	24	8	25(20)	4.5	普通、高炉B	-	m3									
11	生コンクリート等		B1-4(高性能AE減水剤・膨張材)	24	15	25(20)	4.5	普通、高炉B	-	m3									
12	生コンクリート等		B2-1	24	8	40	4.5	普通、高炉B	-	m3									
13	生コンクリート等		C1-1	18	8	25(20)	4.5	普通、高炉B	-	m3									
14	生コンクリート等		C2-1	18	8	40	4.5	普通、高炉B	-	m3									
15	生コンクリート等		D1-1	18	-	25(20)	-	普通、高炉B、フライB	-	m3									
16	生コンクリート等		D1-1	18	-	40	-	普通、高炉B、フライB	-	m3									
17	生コンクリート等		P2-2	40	8	25(20)	4.5	早強	300	m3									
18	生コンクリート等		P2-2(高性能AE減水剤・膨張材)	40	8	25(20)	4.5	早強	300	m3									
19	生コンクリート等		P2-2	40	8	25(20)	4.5	普通	-	m3									
20	生コンクリート等		P2-2(高性能AE減水剤・膨張材)	40	8	25(20)	4.5	普通	-	m3									
21	生コンクリート等		P2-4(高性能AE減水剤)	40	12	25(20)	4.5	早強	300	m3									
22	生コンクリート等		P2-4(高性能AE減水剤・膨張材)	40	12	25(20)	4.5	早強	300	m3									
23	生コンクリート等		P2-4(高性能AE減水剤)	40	12	25(20)	4.5	普通	300	m3									
24	生コンクリート等		P2-4(高性能AE減水剤・膨張材)	40	12	25(20)	4.5	普通	300	m3									
25	生コンクリート等		P3-2	36	8	25(20)	4.5	早強	300	m3									
26	生コンクリート等		P3-2(膨張材)	36	8	25(20)	4.5	早強	300	m3									
27	生コンクリート等		P3-2(高性能AE減水剤・膨張材)	36	8	25(20)	4.5	早強	300	m3									
28	生コンクリート等		P3-4(高性能AE減水剤)	36	12	25(20)	4.5	早強	300	m3									
29	生コンクリート等		T1-4(FA)	24	21、35～50 ※1	25(20)	4.5	普通	270	m3									
30	生コンクリート等		T1-4(LS)	24	21、35～50 ※1	25(20)	4.5	普通、高炉B	270	m3									
31	生コンクリート等		T1-4(Ad)	24	21、35～50 ※2	25(20)	4.5	普通、高炉B	320	m3									
32	生コンクリート等		T3-4(FA) (中流動コンクリート)	24	21、35～50 ※4	25(20)	4.5	普通	270	m3									
33	生コンクリート等		T3-4(LS) (中流動コンクリート)	24	21、35～50 ※4	25(20)	4.5	普通、高炉B	270	m3									
34	生コンクリート等		T3-4(Ad) (中流動コンクリート、増粘剤入り混和剤使用)	24	21、35～50 ※4	25(20)	4.5	普通、高炉B	340	m3									
35	生コンクリート等		Y1-1	30	15	25(20)	4.5	普通、高炉B	350	m3									
36	生コンクリート等		Y1-1	30	18	25(20)	4.5	普通、高炉B	350	m3									
37	生コンクリート等		H1-1	曲げ 4.5	1.5	25(20)	4.5	普通	-	m3									
38	生コンクリート等		H1-1	曲げ 4.5	1.5	40	4.5	普通	-	m3									
39	生コンクリート等		H2-1	曲げ 4.5	6.5	25(20)	4.5	普通	-	m3									
40	生コンクリート等		H2-1	曲げ 4.5	6.5	40	4.5	普通	-	m3									
41	生コンクリート等		HS1-1	曲げ 4.5	3.5	25(20)	5.5	普通、高炉B	-	m3									
42	生コンクリート等		HS1-1	曲げ 4.5	3.5	40	5.5	普通、高炉B	-	m3									
43	生コンクリート等		N1-1(ニューマチックケーソン中詰)	18	18	25(20)	4.5	普通、高炉B	-	m3									
44	生コンクリート等	吹付けコンクリート	W/C=56 C=360kg S=1086kg G=675kg	-	-	-	-	-	-	m3									
45	生コンクリート等	モルタル	W/C=50 C=500kg S=1500kg	-	-	-	-	-	-	m3									
46	生コンクリート等		C=260kg S=780kg(1:3モルタル)	-	-	-	-	-	-	-		m3							
47	生コンクリート等		C=260kg S=520kg(1:2モルタル)	-	-	-	-	-	-	-		m3							

※1 コンクリートの打込み箇所における値である。打込み箇所とはコンクリートを打込んだ直後締固め前の箇所をいう。

※2 スラブの許容値は、1.5cmの時は±1.0cm、6.5cmの時は±1.5cm、8cm及び15cmの時は±2.5cmとする。

※3 空気量の許容値は、±1.5%とする。

※4 表中の「35～50」はスランプフロー値。

※5 スランプフロー値。許容値は±5.0cmとする。

表1-3 セメント(建設)

・対象品目一覧

No.	品 名	規 格	単位	磐越道 (小松・草水・石間地区)	磐越道 (熊渡・長谷地区)	磐越道 (五十島地区)	磐越道 (五泉PA～新津IC)	磐越道 (新津IC～新潟PA)	磐越道 (阿賀町・東山地 区)	磐越道 (西会津町・熊沢・野沢 地区)	備 考
1	セメント (バラ)	普通ポルトランド(3,000t以上)	t								
2		普通ポルトランド(1,000t以上3,000t未満)	t								
3		高炉B種(3,000t以上)	t								
4		高炉B種(1,000t以上3,000t未満)	t								

表1-4 アスファルト混合物(建設)

・対象品目一覧

No.	品 名	規 格	単位	磐越道 (小松・草水・石間地区)	磐越道 (熊渡・長谷地区)	磐越道 (五十島地区)	磐越道 (五泉PA～新津IC)	磐越道 (新津IC～新潟PA)	磐越道 (阿賀町・東山地 区)	磐越道 (西会津町・熊沢・野沢 地区)	備 考
-1	再生アスファルト混合物	密粒度 13mm	t								
0		密粒度 20mm	t								
1		粗粒度 20mm	t								
2	再生アスファルト(新20FH)	密粒度 20mm	t								
3	再生アスファルト混合物(13F)B	密粒度 13mm	t								
4	AS乳剤	PK-1	t								
5		PK-3	t								
6		PK-4	t								
7		PKR-T	t								
8	ストレートアスファルト	60-80	t								
9	改質アスファルト	改質Ⅱ型	t								

表1-5 コンクリート二次製品(建設)

・対象品目一覧

No.	種 別	品 名	規 格	単位	磐越道 (小松・草水・石間地区)	磐越道 (熊渡・長谷地区)	磐越道 (五十島地区)	磐越道 (五泉PA～新津IC)	磐越道 (新津IC～新潟PA)	磐越道 (阿賀町・東山地区)	磐越道 (西会津町・熊沢・野沢地区)	備 考
1	コンクリート二次製品	コンクリート積みブロック	粗面 10個/㎡	個								
2	コンクリート二次製品		滑面 10個/㎡	個								
3	コンクリート二次製品		JIS5372 1種250	個								
4	コンクリート二次製品		JIS5372 1種300A	個								
5	コンクリート二次製品		JIS5372 1種300B	個								
6	コンクリート二次製品		JIS5372 1種400A	個								
7	コンクリート二次製品		JIS5372 1種400B	個								
8	コンクリート二次製品		JIS5372 1種500A	個								
9	コンクリート二次製品		JIS5372 1種500B	個								
10	コンクリート二次製品		JIS5372 3種250	個								
11	コンクリート二次製品		JIS5372 3種300A	個								
12	コンクリート二次製品		JIS5372 3種300B	個								
13	コンクリート二次製品		JIS5372 3種400A	個								
14	コンクリート二次製品		JIS5372 3種400B	個								
15	コンクリート二次製品		JIS5372 3種500A	個								
16	コンクリート二次製品		JIS5372 3種500B	個								
17	コンクリート二次製品	道路用鉄筋コンクリート側溝	JIS5372 1種ふた250	個								
18	コンクリート二次製品		JIS5372 1種ふた300	個								
19	コンクリート二次製品		JIS5372 1種ふた400	個								
20	コンクリート二次製品		JIS5372 1種ふた500	個								
21	コンクリート二次製品		JIS5372 3種ふた250	個								
22	コンクリート二次製品		JIS5372 3種ふた300	個								
23	コンクリート二次製品		JIS5372 3種ふた400	個								
24	コンクリート二次製品		JIS5372 3種ふた500	個								
25	コンクリート二次製品		工場製縁石 (切欠タイプ)	L=0.6m(マウンタブル)	個							
26	コンクリート二次製品	L=1.0m(マウンタブル) 80/200*170*990		個								
27	コンクリート二次製品		L=0.9m	個								
28	コンクリート二次製品	油水分離ます	Dco(4.0)-1.30・5.20・2.23(1)	個								
29	コンクリート二次製品		Dco(4.0)-1.30・5.20・2.23(2)	個								
30	コンクリート二次製品		Dco(4.0)-1.30・5.20・2.23(3)	個								
31	コンクリート二次製品		Dco(0.3)-1.20・2.40・1.20(A) 流量 =0.01m3/s、平地型	個								
32	コンクリート二次製品		Dco(0.3)-1.20・2.40・1.20(B) 流量 =0.01m3/s、斜面型	個								
33	コンクリート二次製品		Dco(0.3)-1.20・2.40・1.20(C) 流量=0.01m3/s、斜面型	個								
34	コンクリート二次製品		Dco(0.6)-1.90・3.40・1.4 流量 =0.100m3/s、平地型	個								
35	コンクリート二次製品		Dco(0.6)-1.90・3.40・1.4 流量 =0.100m3/s、のり面型	個								
36	コンクリート二次製品		Dco(0.6)-1.90・3.40・1.4 流量 =0.150m3/s、平地型	個								
37	コンクリート二次製品		Dco(0.6)-1.90・3.40・1.4 流量 =0.150m3/s、のり面型	個								
38	コンクリート二次製品		Dco(0.6)-2.14・2.00・1.35 流量 =0.072m3/s、平地型	個								
39	コンクリート二次製品		Dco(0.6)-2.14・2.00・1.35 流量 =0.072m3/s、のり面型	個								
40	コンクリート二次製品		Dco(P-SP)-φ1.80・2.10	個								
41	コンクリート二次製品		Dco(P-SP)-φ1.80・2.40	個								
42	コンクリート二次製品		Dco(P-M)-φ1.80・2.935	個								
43	コンクリート二次製品	Dco(P-M)-φ1.20・3.335	個									

44	コンクリート二次製品	集水ます (TYPE A)	Dc [^] -0.50・0.50・0.50(ふた無し)	個							
45	コンクリート二次製品		Dc-0.50・0.50・0.50	個							
46	コンクリート二次製品		Dc-0.50・0.50・0.60	個							
47	コンクリート二次製品		Dc-0.50・0.50・0.70	個							
48	コンクリート二次製品		DC-0.60・0.60・0.60	個							
49	コンクリート二次製品		Dc [^] -0.50・0.50・0.60	個							
50	コンクリート二次製品		Dc [^] (D)-0.50・0.50・0.50	個							
51	コンクリート二次製品	集水ます (TYPE B)	Dc [^] (D)-0.50・0.50・0.60	個							
52	コンクリート二次製品		Dc-0.60・0.60・0.80	個							
53	コンクリート二次製品		Dc-0.70・0.70・0.70	個							
54	コンクリート二次製品		Dc [^] -0.50・0.50・0.70	個							
55	コンクリート二次製品		Dc [^] -0.60・0.60・0.80	個							
56	コンクリート二次製品		Dc [^] -0.70・0.70・0.70	個							
57	コンクリート二次製品		Dc [^] (D)-0.50・0.50・0.70	個							
58	コンクリート二次製品	集水ます (TYPE C)	Dc [^] (D)-0.60・0.60・0.60	個							
59	コンクリート二次製品		Dc [^] (D)-0.60・0.60・0.80	個							
60	コンクリート二次製品		Dc [^] (D)-0.70・0.70・0.70	個							
61	コンクリート二次製品		DC-0.60・0.60・1.00	個							
62	コンクリート二次製品		DC-0.70・0.70・0.90	個							
63	コンクリート二次製品		DC-0.80・0.80・0.80	個							
64	コンクリート二次製品	集水ます (TYPE D)	DC-0.70・0.70・1.10	個							
65	コンクリート二次製品		DC-0.90・0.90・0.90	個							
66	コンクリート二次製品		Dc [^] -0.80・0.80・1.00	個							
67	コンクリート二次製品		Dc [^] -0.60・0.60・1.00	個							
68	コンクリート二次製品		Dc [^] -0.70・0.70・0.90	個							
69	コンクリート二次製品		Dc [^] -0.80・0.80・0.80	個							
70	コンクリート二次製品		Dc [^] (D)-0.60・0.60・1.00	個							
71	コンクリート二次製品	集水ます (TYPE E)	Dc [^] (D)-0.70・0.70・0.90	個							
72	コンクリート二次製品		Dc [^] (D)-0.80・0.80・0.80	個							
73	コンクリート二次製品		DC-0.80・0.80・1.20	個							
74	コンクリート二次製品		DC-0.90・0.90・1.10	個							
75	コンクリート二次製品		DC-0.90・0.90・1.30	個							
76	コンクリート二次製品		Dc [^] -0.70・0.70・1.10	個							
77	コンクリート二次製品		Dc [^] -0.80・0.80・1.00	個							
78	コンクリート二次製品	集水ます (TYPE F)	Dc [^] -0.80・0.80・1.20	個							
79	コンクリート二次製品		Dc [^] -0.90・0.90・0.90	個							
80	コンクリート二次製品		Dc [^] -0.90・0.90・1.10	個							
81	コンクリート二次製品		Dc [^] (D)-0.70・0.70・1.10	個							
82	コンクリート二次製品		Dc [^] (D)-0.80・0.80・1.00	個							
83	コンクリート二次製品		Dc [^] (D)-0.80・0.80・1.20	個							
84	コンクリート二次製品		Dc [^] (D)-0.90・0.90・0.90	個							
85	コンクリート二次製品	集水ます (TYPE G)	Dc [^] (D)-0.90・0.90・1.10	個							
86	コンクリート二次製品		Dc-S-0.80・0.80・1.20	個							
87	コンクリート二次製品		Dc-S-0.80・0.80・1.30	個							
88	コンクリート二次製品		Dc-S-0.80・0.80・1.40	個							
89	コンクリート二次製品		Dc-M-0.70・0.70・1.18	個							
90	コンクリート二次製品		Dc-M-0.80・0.80・1.18	個							
91	コンクリート二次製品		Dc-TG-0.70・0.60・1.18	個							
92	コンクリート二次製品	集水ます (TYPE H)	Dc [^] -0.90・0.90・1.30	個							
93	コンクリート二次製品		Dc [^] (D)-0.90・0.90・1.30	個							
94	コンクリート二次製品		Dc-S-0.80・0.80・1.60	個							
95	コンクリート二次製品		Dc-S-0.80・0.80・1.80	個							
96	コンクリート二次製品		Dc [^] -S-AS	個							
97	コンクリート二次製品		Dc [^] -S-St	個							
98	コンクリート二次製品		Dc-S-(G)-3.00・0.50・0.55	個							
99	コンクリート二次製品	集水ます (TYPE I)	Dc [^] -M-St	個							
100	コンクリート二次製品		Dc [^] -M-RG	個							
101	コンクリート二次製品		Dc [^] -St(Sw)φ 300	個							
102	コンクリート二次製品		Dc [^] -St(Sw)φ 400	個							
103	コンクリート二次製品		Dc [^] -TG	個							

報告書に1個当りの重量を記載すること

表1-6 建設副產物處理費(建設)

・対象品目一覧

[illegible]

表2-1 アスファルト混合物種別一覧表(管理)

	事務所	IC区間	高機能 Ⅰ型 13mm 空隙17%	高機能 Ⅱ型 13mm	高機能 Ⅱ型(高粘度) 13mm	表層用(密粒) Type B 13mm	基層用				FB13 13mm	FB5 5mm	アス安定 20mm	アス安定 40mm (新材)	アス安定 40mm (再生)	アスカ-ﾌﾞ用	備考
							20mm 改質Ⅱ型	20mm ｽﾄｱｽ60/80	20mm ｽﾄｱｽ80/100	20mm 遮水性							
北陸	上越	朝日 ～ 親不知															
		親不知 ～ 糸魚川															
		糸魚川 ～ 能生															
		能生 ～ 名立谷浜															
		名立谷浜 ～ 上越															
	長岡	上越 ～ 柿崎															
		柿崎 ～ 米山															
		米山 ～ 柏崎															
		柏崎 ～ 西山															
		西山 ～ 長岡JCT															
	新潟	長岡JCT ～ 中之島見附															
		中之島見附 ～ 三条燕															
		三条燕 ～ 巻潟東															
日本海 東北	新潟	巻潟東 ～ 新潟西															
		新潟西 ～ 新潟中央JCT															
		新潟中央JCT ～ 新潟亀田															
		新潟亀田 ～ 新潟空港															
		新潟空港 ～ 豊栄新潟東港															
		豊栄新潟東港 ～ 聖籠新発田															
		聖籠新発田 ～ 中条															
関越	湯沢	中条 ～ 荒川胎内															
		水上 ～ 湯沢															
		湯沢 ～ 塩沢石打															
		塩沢石打 ～ 六日町															
		六日町 ～ 小出															
		小出 ～ 堀之内															
		堀之内 ～ 越後川口															
	長岡	越後川口 ～ 小千谷															
		小千谷 ～ 長岡															
		長岡 ～ 長岡JCT															
磐越	新潟	津川 ～ 三川															
		三川 ～ 安田															
		安田 ～ 新津															
		新津 ～ 新潟中央JCT															
		新潟中央JCT ～ 新潟中央															
上信越	上越	信濃町 ～ 妙高高原															
		妙高高原 ～ 中郷															
		中郷 ～ 上越高田															
		上越高田 ～ 上越JCT															

凡 例

- 昼間単価
- 昼間及び夜間単価

表 2－2 建設副産物（管理）

・対象品目一覧

事務所名	アスファルト廃材		コンクリート廃材			夜間割増	備考
	掘削	切削	無筋	有筋	二次製品		
湯沢管理事務所							
新潟管理事務所							
長岡管理事務所							
上越管理事務所							

※建設副産物処理費（単位：t）

（参考）建設副産物処理施設数

建設副産物処理施設数 （アスファルト廃材処理・コンクリート廃材処理）	事務所名	路線名	区間	備考
※平成26年度調査実績より 新潟県 131箇所 長野県 26箇所 群馬県 4箇所	湯沢管理事務所	関越自動車道	水上～小千谷	
	新潟管理事務所	北陸自動車道	三条燕～新潟中央JCT	
		日本海東北自動車道	新潟中央JCT～荒川胎内	
		磐越自動車道	新潟中央JCT～西会津	
	長岡管理事務所	北陸自動車道	柿崎～三条燕	
		関越自動車道	小千谷～長岡JCT	
	上越管理事務所	北陸自動車道	朝日～柿崎	
		上信越自動車道	信濃町～上越JCT	

表2－3 床版防水種別一覧表（管理）



整理 番号	対象箇所	上下線	計画年度	橋梁延長	対象径間	立上り部の形状 (70リタor地覆)	既設橋 床版				路肩側			中央分離帯側			交通規制 防水施工時の 交通規制方法	対象車線・順序 防水施工時に 車線等を分割 施工する場合 及び施工順序	施工方法 塗布、シート	施工時間帯			調査区分	
				単位 (m)			①床版防水層				端部防水層A(端部保護材A含む)			端部防水層B(端部保護材B含む)						材工費				
							<床版面> 新設or既設	幅員(L)	控除数量	概算数量	施工高(H)	控除数量	概算数量	施工高(H)	控除数量	概算数量				床版防水	端部防水			
								単位(m)	単位(m ²)	単位(m ²)	単位(m)	単位(m ²)	単位(m ²)	単位(m)	単位(m ²)	単位(m ²)								
1																								
2																								
3																								
4																								
5																								
6																								
7																								
8																								
9																								
10																								
	合計(概算)			0.0						0			0			0								

- < 条件 >
- ・防水グレード: グレードⅡを基本とする
 - ・端部防水、端部保護材: 「 A 」 及び 「 B 」 は部位(路肩側、中分側)を示す
 - ・施工方法: 「 塗布 」 or 「 シート 」、または「 塗布及びシート」を記述する
 - ・施工時間帯: 「 昼間 」、「 夜間 」、「 昼夜間 」を記述する。
 - ・床版面が新設か既設を記述する。(床版取替や増厚床版の場合は新設)
 - ・研掃工: 床版防水に含まない(NEXCO積算により別途計上)
 - ・床版防水面積は、平均面積であるため、単純算出結果(延長×幅員)と同一とならない場合がある。

表2-4 生コンクリート(管理)

・対象品目一覧

No.	種 別	品 名	規 格	材令28日 圧縮強度 (N/mm2)	スラブ ※1・2 (cm)	粗骨材 最大寸法 (mm)	空気量 ※1・3 (%)	セメント 種類	最低 セメント量 (kg/m3)	単位	取引数量	北陸道									
												上越(管)					長岡(管)				
												朝日～ 親不知	親不知～ 糸魚川	糸魚川～ 能生	能生～ 名立谷浜	名立谷浜～ 上越	上越～ 柿崎	柿崎～ 米山	米山～ 柏崎	柏崎～ 西山	西山～ 長岡JCT
1	生コンクリート等	生コンクリート	21-18-25(JIS)	21	18	25(20)	-	普通	-	m3	実勢価格と する。										
2	生コンクリート等		A1-1	30	8	25(20)	4.5	普通	230	m3											
3	生コンクリート等		A1-3	30	8	25(20)	4.5	普通、高炉B	-	m3											
4	生コンクリート等		A1-4(高性能AE減水剤+膨張材)	30	12	25(20)	4.5	普通、高炉B	270	m3											
5	生コンクリート等		A1-5(高性能AE減水剤+膨張材)	30	15	25(20)	4.5	普通、高炉B	270	m3											
6	生コンクリート等		B1-2	24	8	25(20)	4.5	早強	-	m3											
7	生コンクリート等		B1-3	24	8	25(20)	4.5	普通、高炉B	-	m3											
8	生コンクリート等		B2-1	24	8	40	4.5	普通、高炉B	-	m3											
9	生コンクリート等		C1-1	18	8	25(20)	4.5	普通、高炉B	-	m3											
10	生コンクリート等		C1-1	18	4	25(20)	4.5	普通、高炉B	-	m3											
11	生コンクリート等		C2-1	18	8	40	4.5	普通、高炉B	-	m3											
12	生コンクリート等		C2-1(T)	36	8	25(20)	4.5	早強ポルトランドセメント	300	m3											
13	生コンクリート等		D1-1	18	-	25(20)	-	普通、高炉B、フライB	-	m3											
14	生コンクリート等		D1-1	18	-	40	-	普通、高炉B、フライB	-	m3											
15	生コンクリート等		N1-1	18	18	25(20)	4.5	普通、高炉B	-	m3											
16	生コンクリート等		P2-2(高性能AE減水剤)	40	8	25(20)	4.5	早強	300	m3											
17	生コンクリート等		P2-2(高性能AE減水剤+膨張材)	40	8	25(20)	4.5	早強	300	m3											
18	生コンクリート等		P2-2	40	8	25(20)	4.5	普通	-	m3											
19	生コンクリート等		P2-2(高性能AE減水剤+膨張材)	40	8	25(20)	4.5	普通	-	m3											
20	生コンクリート等		P2-4(高性能AE減水剤)	40	12	25(20)	4.5	早強	300	m3											
21	生コンクリート等		P2-4(高性能AE減水剤+膨張材)	40	12	25(20)	4.5	早強	300	m3											
22	生コンクリート等		P2-4(高性能AE減水剤)	40	12	25(20)	4.5	普通	300	m3											
23	生コンクリート等		P2-4(高性能AE減水剤+膨張材)	40	12	25(20)	4.5	普通	300	m3											
24	生コンクリート等		P3-2	36	8	25(20)	4.5	早強	300	m3											
25	生コンクリート等		P3-2(高性能AE減水剤+膨張材)	36	8	25(20)	4.5	早強	300	m3											
26	生コンクリート等		P3-4	36	12	25(20)	4.5	早強	300	m3											
27	生コンクリート等		P6-4	50	12	25(20)	4.5	早強	300	m3											
28	生コンクリート等		P6-5	50	12	25(20)	4.5	早強	300	m3											
29	生コンクリート等		T1-4	24	21※4	25(20)	4.5	普通、高炉B	270	m3											
30	生コンクリート等		T3-4	24	21※4	25(20)	4.5	普通、高炉B	270	m3											
31	生コンクリート等		Y1-1	30	18	25(20)	4.5	普通、高炉B	350	m3											
32	生コンクリート等		H1-1	曲げ 4.5	1.5	25(20)	4.5	普通、高炉B、舗装、FB、中床熟	-	m3											
33	生コンクリート等		H1-1	曲げ 4.5	1.5	40	4.5	普通、高炉B、舗装、FB、中床熟	-	m3											
34	生コンクリート等		HS1-1	曲げ 4.5	3.5	25(20)	5.5	普通、高炉B、舗装、FB、中床熟	-	m3											
35	生コンクリート等		HS1-1	曲げ 4.5	3.5	40	5.5	普通、高炉B、舗装、FB、中床熟	-	m3											
36	生コンクリート等		H2-1	曲げ 4.5	6.5	25(20)	4.5	普通、高炉B、舗装、FB、中床熟	-	m3											
37	生コンクリート等		H2-1	曲げ 4.5	6.5	40	4.5	普通、高炉B、舗装、FB、中床熟	-	m3											

※1 コンクリートの打込み箇所における値である。打込み箇所とはコンクリートを打込んだ直後締固め前の箇所をいう。
※2 スラブの許容値は、1.5cmの時は±1.0cm、3.5cm・6.5cmの時は±1.5cm、8cm・12cm・15cm・18cm及び21cmの時は±2.5cmとする。
※3 空気量の許容値は、±1.5%とする。
※4 スラブフロー値は35cm～50cmとする。
※5 ※4以外のスラブフロー値は±5.0cmとする。

表2-4 生コンクリート(管理)

・対象品目一覧

No.	種 別	品 名	規 格	材令28日 圧縮強度 (N/mm2)	スラップ ※1・2 (cm)	粗骨材 最大寸法 (mm)	空気量 ※1・3 (%)	セメント 種類	最低 セメント量 (kg/m3)	単位	取引数量	北陸道					日本海東北道				
												長岡(管)		新潟(管)			新潟(管)				
												長岡JCT～ 中之島見附	中之島見附～ 三条燕	三条燕～ 巻潟東	巻潟東～ 新潟西	新潟西～ 新潟中央JCT	新潟中央 JCT～ 新潟亀田	新潟亀田～ 新潟空港	新潟空港～ 豊栄新潟東港	豊栄新潟東港～ 聖籠新潟田	聖籠新潟田～ 中条
1	生コンクリート等	生コンクリート	21-18-25(JIS)	21	18	25(20)	-	普通	-	m3	実勢価格と する。										
2	生コンクリート等		A1-1	30	8	25(20)	4.5	普通	230	m3											
3	生コンクリート等		A1-3	30	8	25(20)	4.5	普通、高炉B		m3											
4	生コンクリート等		A1-4(高性能AE減水剤+膨張材)	30	12	25(20)	4.5	普通、高炉B	270	m3											
5	生コンクリート等		A1-5(高性能AE減水剤+膨張材)	30	15	25(20)	4.5	普通、高炉B	270	m3											
6	生コンクリート等		B1-2	24	8	25(20)	4.5	早強	-	m3											
7	生コンクリート等		B1-3	24	8	25(20)	4.5	普通、高炉B	-	m3											
8	生コンクリート等		B2-1	24	8	40	4.5	普通、高炉B	-	m3											
9	生コンクリート等		C1-1	18	8	25(20)	4.5	普通、高炉B	-	m3											
10	生コンクリート等		C1-1	18	4	25(20)	4.5	普通、高炉B	-	m3											
11	生コンクリート等		C2-1	18	8	40	4.5	普通、高炉B	-	m3											
12	生コンクリート等		C2-1(T)	36	8	25(20)	4.5	早強ポルトランドセメント	300	m3											
13	生コンクリート等		D1-1	18	-	25(20)	-	普通、高炉B、フライB	-	m3											
14	生コンクリート等		D1-1	18	-	40	-	普通、高炉B、フライB	-	m3											
15	生コンクリート等		N1-1	18	18	25(20)	4.5	普通、高炉B	-	m3											
16	生コンクリート等		P2-2(高性能AE減水剤)	40	8	25(20)	4.5	早強	300	m3											
17	生コンクリート等		P2-2(高性能AE減水剤+膨張材)	40	8	25(20)	4.5	早強	300	m3											
18	生コンクリート等		P2-2	40	8	25(20)	4.5	普通	-	m3											
19	生コンクリート等		P2-2(高性能AE減水剤+膨張材)	40	8	25(20)	4.5	普通	-	m3											
20	生コンクリート等		P2-4(高性能AE減水剤)	40	12	25(20)	4.5	早強	300	m3											
21	生コンクリート等		P2-4(高性能AE減水剤+膨張材)	40	12	25(20)	4.5	早強	300	m3											
22	生コンクリート等		P2-4(高性能AE減水剤)	40	12	25(20)	4.5	普通	300	m3											
23	生コンクリート等		P2-4(高性能AE減水剤+膨張材)	40	12	25(20)	4.5	普通	300	m3											
24	生コンクリート等		P3-2	36	8	25(20)	4.5	早強	300	m3											
25	生コンクリート等		P3-2(高性能AE減水剤+膨張材)	36	8	25(20)	4.5	早強	300	m3											
26	生コンクリート等		P3-4	36	12	25(20)	4.5	早強	300	m3											
27	生コンクリート等		P6-4	50	12	25(20)	4.5	早強	300	m3											
28	生コンクリート等		P6-5	50	12	25(20)	4.5	早強	300	m3											
29	生コンクリート等		T1-4	24	21※4	25(20)	4.5	普通、高炉B	270	m3											
30	生コンクリート等		T3-4	24	21※4	25(20)	4.5	普通、高炉B	270	m3											
31	生コンクリート等		Y1-1	30	18	25(20)	4.5	普通、高炉B	350	m3											
32	生コンクリート等		H1-1	曲げ 4.5	1.5	25(20)	4.5	普通、高炉B、舗装、FB、中床熱	-	m3											
33	生コンクリート等		H1-1	曲げ 4.5	1.5	40	4.5	普通、高炉B、舗装、FB、中床熱	-	m3											
34	生コンクリート等		HS1-1	曲げ 4.5	3.5	25(20)	5.5	普通、高炉B、舗装、FB、中床熱	-	m3											
35	生コンクリート等		HS1-1	曲げ 4.5	3.5	40	5.5	普通、高炉B、舗装、FB、中床熱	-	m3											
36	生コンクリート等		H2-1	曲げ 4.5	6.5	25(20)	4.5	普通、高炉B、舗装、FB、中床熱	-	m3											
37	生コンクリート等		H2-1	曲げ 4.5	6.5	40	4.5	普通、高炉B、舗装、FB、中床熱	-	m3											

※1 コンクリートの打込み箇所における値である。打込み箇所とはコンクリートを打込んだ直後締固め前の箇所をいう。
※2 スラップの許容値は、1.5cmの時は±1.0cm、3.5cm・6.5cmの時は±1.5cm、8cm・12cm・15cm・18cm及び21cmの時は±2.5cmとする。
※3 空気量の許容値は、±1.5%とする。
※4 スラップフロー値は35cm～50cmとする。
※5 ※4以外のスラップフロー値は±5.0cmとする。

表2-4 生コンクリート(管理)

・対象品目一覧

No.	種 別	品 名	規 格	材令28日	スランプ	粗骨材	空気量	セメント	最低	単位	取引数量	日本海東北道																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
				圧縮強度	※1・2	最大寸法	※1・3	種類	セメント量			関越道																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
				(N/mm2)	(cm)	(mm)	(%)		(kg/m3)			中条～ 荒川胎内	水上～ 湯沢	湯沢～ 塩沢石打	塩沢石打～ 六日町	六日町～ 小出	小出～ 堀之内	堀之内～ 越後川口	越後川口～ 小千谷	小千谷～ 長岡	長岡～ 長岡JCT																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
1	生コンクリート等	生コンクリート	21-18-25(JIS)	21	18	25(20)	-	普通	-	m3	実勢価格とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											</

※1 コンクリートの打込み箇所における値である。打込み箇所とはコンクリートを打込んだ直後締固め前の箇所をいう。
※2 スランプの許容値は、1.5cmの時は±1.0cm、3.5cm・6.5cmの時は±1.5cm、8cm・12cm・15cm・18cm及び21cmの時は±2.5cmとする。
※3 空気量の許容値は、±1.5%とする。
※4 スランプフロー値は35cm～50cmとする。
※5 ※4以外のスランプフロー値は±5.0cmとする。

表2-4 生コンクリート(管理)

・対象品目一覧

No.	種 別	品 名	規 格	材令28日 圧縮強度 (N/mm2)	スラブ ※1・2 (cm)	粗骨材 最大寸法 (mm)	空気量 ※1・3 (%)	セメント 種類	最低 セメント量 (kg/m3)	単位	取引数量	磐越道 新潟(管)					上信越道 上越(管)				備 考
												津川～ 三川	三川～ 安田	安田～ 新津	新津～ 新潟中央JCT	新潟中央 JCT～ 新潟中央	信濃町～ 妙高高原	妙高高原～ 中郷	中郷～ 上越高田	上越高田～ 上越JCT	
1	生コンクリート等	生コンクリート	21-18-25(JIS)	21	18	25(20)	-	普通	-	m3	実勢価格と する。										
2	生コンクリート等		A1-1	30	8	25(20)	4.5	普通	230	m3											
3	生コンクリート等		A1-3	30	8	25(20)	4.5	普通、高炉B		m3											
4	生コンクリート等		A1-4(高性能AE減水剤+膨張材)	30	12	25(20)	4.5	普通、高炉B	270	m3											
5	生コンクリート等		A1-5(高性能AE減水剤+膨張材)	30	15	25(20)	4.5	普通、高炉B	270	m3											
6	生コンクリート等		B1-2	24	8	25(20)	4.5	早強	-	m3											
7	生コンクリート等		B1-3	24	8	25(20)	4.5	普通、高炉B	-	m3											
8	生コンクリート等		B2-1	24	8	40	4.5	普通、高炉B	-	m3											
9	生コンクリート等		C1-1	18	8	25(20)	4.5	普通、高炉B	-	m3											
10	生コンクリート等		C1-1	18	4	25(20)	4.5	普通、高炉B	-	m3											
11	生コンクリート等		C2-1	18	8	40	4.5	普通、高炉B	-	m3											
12	生コンクリート等		C2-1(T)	36	8	25(20)	4.5	早強ポルトランドセメント	300	m3											
13	生コンクリート等		D1-1	18	-	25(20)	-	普通、高炉B、フライB	-	m3											
14	生コンクリート等		D1-1	18	-	40	-	普通、高炉B、フライB	-	m3											
15	生コンクリート等		N1-1	18	18	25(20)	4.5	普通、高炉B	-	m3											
16	生コンクリート等		P2-2(高性能AE減水剤)	40	8	25(20)	4.5	早強	300	m3											
17	生コンクリート等		P2-2(高性能AE減水剤+膨張材)	40	8	25(20)	4.5	早強	300	m3											
18	生コンクリート等		P2-2	40	8	25(20)	4.5	普通	-	m3											
19	生コンクリート等		P2-2(高性能AE減水剤+膨張材)	40	8	25(20)	4.5	普通	-	m3											
20	生コンクリート等		P2-4(高性能AE減水剤)	40	12	25(20)	4.5	早強	300	m3											
21	生コンクリート等		P2-4(高性能AE減水剤+膨張材)	40	12	25(20)	4.5	早強	300	m3											
22	生コンクリート等		P2-4(高性能AE減水剤)	40	12	25(20)	4.5	普通	300	m3											
23	生コンクリート等		P2-4(高性能AE減水剤+膨張材)	40	12	25(20)	4.5	普通	300	m3											
24	生コンクリート等		P3-2	36	8	25(20)	4.5	早強	300	m3											
25	生コンクリート等		P3-2(高性能AE減水剤+膨張材)	36	8	25(20)	4.5	早強	300	m3											
26	生コンクリート等		P3-4	36	12	25(20)	4.5	早強	300	m3											
27	生コンクリート等		P6-4	50	12	25(20)	4.5	早強	300	m3											
28	生コンクリート等		P6-5	50	12	25(20)	4.5	早強	300	m3											
29	生コンクリート等		T1-4	24	21※4	25(20)	4.5	普通、高炉B	270	m3											
30	生コンクリート等		T3-4	24	21※4	25(20)	4.5	普通、高炉B	270	m3											
31	生コンクリート等		Y1-1	30	18	25(20)	4.5	普通、高炉B	350	m3											
32	生コンクリート等		H1-1	曲げ 4.5	1.5	25(20)	4.5	普通、高炉B、舗装、FB、中庸熱	-	m3											
33	生コンクリート等		H1-1	曲げ 4.5	1.5	40	4.5	普通、高炉B、舗装、FB、中庸熱	-	m3											
34	生コンクリート等		HS1-1	曲げ 4.5	3.5	25(20)	5.5	普通、高炉B、舗装、FB、中庸熱	-	m3											
35	生コンクリート等		HS1-1	曲げ 4.5	3.5	40	5.5	普通、高炉B、舗装、FB、中庸熱	-	m3											
36	生コンクリート等		H2-1	曲げ 4.5	6.5	25(20)	4.5	普通、高炉B、舗装、FB、中庸熱	-	m3											
37	生コンクリート等		H2-1	曲げ 4.5	6.5	40	4.5	普通、高炉B、舗装、FB、中庸熱	-	m3											

※1 コンクリートの打込み箇所における値である。打込み箇所とはコンクリートを打込んだ直後締固め前の箇所をいう。
※2 スラブの許容値は、1.5cmの時は±1.0cm、3.5cm・6.5cmの時は±1.5cm、8cm・12cm・15cm・18cm及び21cmの時は±2.5cmとする。
※3 空気量の許容値は、±1.5%とする。
※4 スラブフロ-値は35cm～50cmとする。
※5 ※4以外のスラブフロ-値は±5.0cmとする。